

# 「社会」との 共創共生



## 考え方と 今後の課題

### 「社会」にまつわる 昨今の社会的背景に 関する問題点

昨今の社会的背景を振り返りますと、「ニートやフリーターといった若年層の就労意欲に関する問題」や「地球温暖化や生物多様性をはじめとする環境問題」あるいは「難民問題や食料不足といった地球規模での問題」など、ビジネスのアプローチだけでは解決の難しい問題点が散見されます。

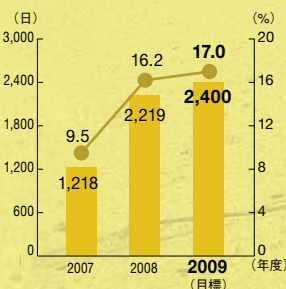
大和ハウスグループでは、こういった社会的背景を踏まえて、活動によっては本業のノウハウや経験を活かしながらも、決して自己満足に留まることなく、地域の皆さまやお取引先やNPO・NGOといった方たちの意見を取り入れながら、あるいは活動そのものと一緒に取り組んでいます。従業員一人ひとりのレベルで「できることから、できる範囲で続けていける」社会貢献活動を活発化させるため、社内の各種制度を整え「社長表彰制度」で活動の顕彰も行っています。

## 今後の課題について

各事業所での社会貢献活動は年々広がりを見せていますが、会社全体で取り組める内容の活動も推進していこうと考えています。「一部の従業員だけが活動に取り組む」というスタンスから脱却し、一人でも多くの従業員が参画できる社会貢献活動を目指していきます。

また、活動が活発化している事業所では、一段のレベルアップを目指して社会的背景を意識した活動に積極的にチャレンジしていきます。

ボランティア休暇の  
取得日数と取得率



代表取締役副社長  
CSR担当

石橋 民生

# 地域密着型の 社会貢献活動

## ～浜松支店の取り組み～

### 社会背景と大和ハウスグループの取り組み

当社グループは、全国の各地に事業所を配置して事業を展開しています。わたしたち各事業所では本業だけでなく、地域社会の一員としての役割も担っていきべきだと考え、社会貢献活動に取り組んでいます。

静岡県にある大和ハウス工業の浜松支店では、従業員とその家族が、協力会社や周辺住民の皆さまと一緒に社会貢献活動を継続して実施しています。

今回の特集では、浜松支店の支店長・井上と「社会貢献推進委員」の永野が、事業所が推進する社会貢献活動について語り合いました。



生まれたての  
小亀の放流と  
会場である中田島砂丘の  
ごみ拾い  
「アカウミガメの放流会」

2008年度

152人参加



## Stakeholder's Voice



青少年健全育成への支店を挙げたサポートに感謝しています。

NPO法人 青少年を育てる会・浜松幹事長  
TKC全国会中央研修所所長  
TKC全国政経研究会幹事長

坂本 孝司 様

当会は、青少年のみずみずしい生活感覚を育て、その情操を豊かにし、明るい未来に導いていくことを目的に、静岡県西部地域の企業・経営者を中心に活動を推進しているNPO法人です。幹事の井上支店長には主要事業であるミュージカルやコンサートの開催に参画していただいています。浜松支店の皆さまには、イベント当日の運営や動員のご協力をしていただき大変感謝しています。皆さまの地域社会に対する無償の奉仕には感激しており、地域密着とはこのような行動から始まるものと改めて実感しました。今後も変わらず継続していただけることを期待しています。

浜名湖周辺海岸のごみ清掃  
「浜名湖クリーン作戦」  
2008年度  
203人参加



浜松支店支店長  
井上 清貴



社会貢献推進委員  
永野 雅照



活動内容や従業員を紹介する、浜松支店のオリジナル広報誌「住まいる浜松」。

### 共に創る～参加しやすい活動～

多くの方が気持ちよく参加できる活動を目指しています。

**井上** 浜松支店では、地域に根ざした独自の社会貢献活動に取り組んでいます。私たちの活動のポリシーは、「一人でも多くの方と心を通わせながら、長く続けること」です。そして、「全員活動」を基本方針とし、従業員の家族・協力会社・周辺住民の方が気軽に活動に参加でき、楽しい思い出として心に残していただけるよう努めています。

**永野** 2008年度に配布された社内啓発用DVD「私たちにもできる社会貢献活動～入門編～」をきっかけに、自主的に活動に参加する「事業所風土」がよりいっそう高まりましたね。

**井上** そのDVDは、“地域貢献活動は業績向上と並ぶ全社的ミッションである”という内容で、浜松支店の活動が特徴的な事例として取り上げられていました。会社の想いや方針、社会貢献活動の意義を見える化したことで、従業員の胸にダイレクトに届いたのでしょう。

**永野** 協力会社の方々にもそのDVDをご覧いただき、積極的なイベント参加につながることができたのも良かったと思います。

### 共に生きる～活動の継続～

活動を継続した結果、うれしい反響をいただきました。

**井上** 浜松支店独自の活動「浜名湖クリーン作戦」と「アカウミガメの放流会」は今年で5年目です。ここにきて地域社会からの反響を感じるようになりました。

**永野** この活動が地元新聞に掲載された時は、初めてお会いするお客さまから話題にあげていただいたと、営業担当が喜びの報告してくれましたね。

**井上** 私は、NPO法人「青少年を育てる会・浜松」(右上囲み参照)の幹事をしています。そこで知り合った浜松に本拠を置く有力企業の方に「大和ハウスが地元企業以上に地域のために活動しているようだから、我が社もがんばらなければ」と賛辞をいただいたことは大変嬉しく誇らしいことでした。

**永野** そういった反響が、従業員の仕事のやりがいや喜びにつながり、本業に対する意識にもつながっていくのだと感じています。



↑社長との記念写真  
浜松支店 支店長 井上(写真右)と永野(左)

↓三重工場 工場長 平戸幸広(写真右)と  
社会貢献推進委員 松原建明(左)



### 今後の 想い

地域での存在感を  
高めていきます。

**永野** 従業員とその家族、協力会社に限定していた「アカウミガメの放流会」ですが、2008年度実施後、他の事業所から「ぜひ参加したい」という声がありました。活動の裾野はこのような反響の積み重ねで一步一步広がっていくものだと思います。地道な活動ながらも信念を持ち続け、社会貢献の輪を地域全体に拡大していくことを目指します。

**井上** 今後も、支店長として、活動のリーダーシップを取り、地域社会との絆を深めるという職責を果たしていきます。そして、この浜松エリアにおいて当社グループのさらなる信頼獲得に貢献していきます。

### 大和ハウスグループの今後の考え方

本業を通じて「快適な住まいと暮らし」を提供し、社会に貢献する私たちにとって「地域密着」は欠かせないキーワードです。全国の各事業所で社会貢献推進委員会を中心に活動していますが、一人でも多くの従業員が社会貢献活動を通して、ビジネスでの関わりだけでは得ることのできない「新しい気づき」や「地域社会とのコミュニケーション」を深めていけるような活動の推進と実施に努めていきます。



・社会との共創共生

## column

### 社会貢献活動優秀事業所・社長表彰

当社では、事業所での社会貢献活動をより活発化するために、2007年度から「社長表彰制度」を実施しています。2008年度の優秀事業所には、従業員や社外のステークホルダーの参加人数が多いことが評価された「浜松支店」と、地元自治会との連携を図りながら、幅広い分野で数多くの活動を展開したことが評価された「三重工場」が選ばれました。